

ジノテフラン剤 スタークル豆つぶ	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： 三井アグロ
成分： ジノテフラン〔ネオニコチノイド系〕……………12.0%	性状： 類白色粒状 粒径3～8mm 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類に対して高い殺虫効果を示す。さらに、カメムシ類に対する吸汁阻害効果を有し、効率的な斑点米抑制効果が期待できる。

●粒径5mmの豆つぶ製剤で、10 a 当りの使用量が250g～500gと少量、省力型の水稲本田用殺虫剤である。手まき散布のほか、ひしゃくを利用した散布や機械散布も可能である。

●豆つぶが水面に浮遊しながら速やかに崩壊、分散し、有効成分が広く均一に拡散するため安定した防除効果を発揮する。

●豆つぶ製剤なので、周辺への薬剤飛散抑制に優れる。

●人畜、魚類、鳥類に対する毒性が低く、環境負荷の少ない薬剤である。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●湛水状態（3～5cm程度）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

【薬効・薬害等の注意】……………

●吸湿性があるので、濡れた手で作業したり、降雨で濡れたりすることがないように注意する。また、開封後は早めに使用する。

●稲の葉鞘部に豆つぶ剤がはさまると、局部的に薬害を生じることがあるが、収量への影響はない。

●藻類などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、本田内で水田全面に散布する。

【安全対策上の注意】……………

●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用法】……………

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲	カメムシ類	250g	7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	250～ 500g				